

酒に強い？ 全く飲めない？

アルコール体質調べます

武庫川女子大ベンチャー、遺伝子解析

武庫川女子大（西宮市）が設立したベンチャー企業「武庫川ライフサイエンス研究所」が今月から、遺伝子解析によるアルコールに強い体質か否かを判定



遺伝子解析によるアルコール体質検査事業を始めた武庫川女子大の木下健司教授。西宮市甲子園九番町

する。大学入學や入社シーズンを迎え、木下教授は「自分の体質を知ること、むちゃな飲酒の防止につながれば」としている。

木下教授によると、2種類のアルコール体質遺伝子の違いを調べると、酔いや酔いが不快な症状が出にくく、酒好きになりやすい▽酔いにくく不快な症状も出にくく▽弱いのに顔に出にくく、がんのリスクが高い▽顔がすぐに赤くなり、不快な症状が起きやすい▽全く酒が飲めない▽の5つのアルコール体質に分類できるという。

検査は簡単。棒が付いたスポ

ンジで口の中の唾液や細胞を採取し、付属の水溶紙に含ませて提出するだけだ。研究室でサンプルを解析し、どのタイプかを判定して通知する。

木下教授は約6年前から自身の研究費などで、同大や九州大の学生らを対象に検査を実施してきた。昨年夏に「研究成果を社会に還元することも、社会事業として継続するためには収益を上げたい」としてベンチャー企業を設立。今月から本格的な事業活動を開始した。

費用は、大学生が500～800円、企業の社員は1500～2千円ほどで検査を請け負う予定だ。木下教授は「初年度は年間1万人の解析を目指し、将来は年間10万人規模にまで発展させたい」と熱意を燃やしている。問い合わせはメールで木下教授（kenji_kojima@wakuoka-wa.c.jp）。